

「流星 と 月食」 共演になるか？ 夕方6時が見頃です。

～ **超レア！** 限りなく 皆既月食 に近い **部分月食 98%!** ～

● しし座流星群が、現れるかな？ 11/18(木)

11月18日は、しし座流星群の極大日（一番流星の出現が多い日）で、その前後1週間ぐらいは、しし座を輻射点（流星が流れ始まるポイント）として流星が流れます。この流星群は、時おり大出現をするので有名です。近年は1時間に10個程度であり活発ではありませんが、20年前の1999～2001年には1時間に2000個以上が流れる流星雨となり、1833年と1866年はすさまじくて1秒間40個（推定で1時間に15万個）の流星嵐だったそうです。しし座流星群は約33年周期で活発になると考えられているので、次回は2033年頃ですね。

今年は、満月の時期とも重なり、夜空は明るくて観測には向きません。残念です！



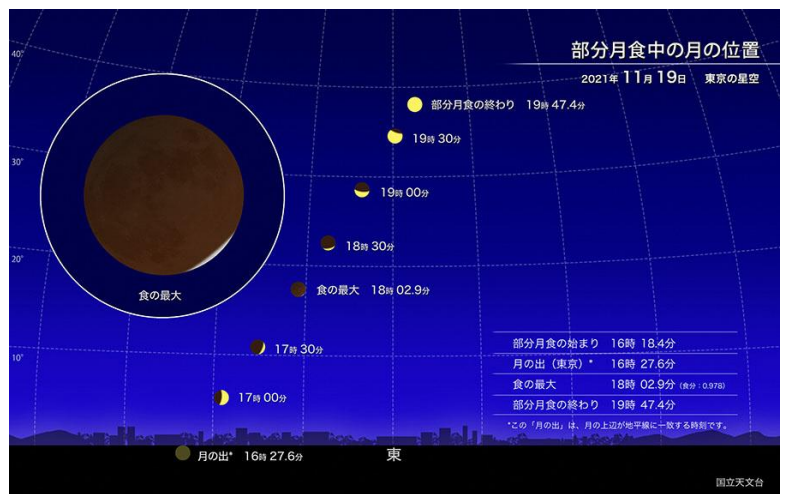
しかし、ナント！ 極大日の翌日11月19日（金）は、月食が起き、月が地球の影に隠れて暗くなります。このタイミングで流星が流れたら、すごいですね！ 午後6：00ぐらいに、夜空を見上げてみよう。

● **98%** 隠れる**部分月食**は **120年ぶりの超レア**もの！ 11/19(金)

- ①月の出と、月食の始まりがほぼ同じなので、**欠けてきた状態で東の空**に昇ってきます。
- ②**最大食**は、**午後6時3分**ごろです。
- ③月食の終わりは、**午後7時47分頃**です。

今年の5月には皆既月食がありましたが、曇り空であまり観察できませんでした。しかも、皆既月食にはギリギリならず98%も欠ける部分日食は、皆既月食より珍しい現象です。

皆既月食の場合は、隠れた月が、地球の大気で屈折した太陽光によりほんのりと赤く照らされて、赤銅色に見える現象が起きますが、さて、今回の部分月食でこの現象が起きるのか興味深いですね。ぜひ観察してみましょう。



国立天文台 HP より

問い 皆既月食が赤銅色（暗赤色）になるのは、何故でしょう？ ヒントは「夕焼け」です。

【関連動画】 流星群

「しし座流星群」 NHK for School クリップ

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005402683_00000&p=box

①しし座流星群



②部分月食



【関連サイト】 部分月食

国立天文台「ほしぞら情報(2021年11月)」

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2021/11-topics03.html>